

令和 XX 年度 卒業論文

【論文タイトル】

電気通信大学 情報理工学域
I類 コンピュータサイエンスプログラム
学籍番号 XXXXXXXX
氏名 【氏名】
指導教員 矢崎 俊志
令和 XX 年 X 月 XX 日

概要

本論文では、【研究テーマ】に関する研究について述べる。【背景と課題を簡潔に記述】

本研究では、【提案手法・システムの概要】を提案する。【実験・評価の概要】の結果、【主要な成果】が確認できた。

目次

1 はじめに	3
1.1 研究の背景	3
1.2 研究の目的	3
1.3 本論文の構成	3
2 背景知識	4
2.1 【技術・概念 1】	4
2.2 【技術・概念 2】	4
2.3 【技術・概念 3】	4
3 提案手法	5
3.1 提案手法の概要	5
3.2 システム設計	5
3.3 実装	5
4 評価	6
4.1 評価環境	6
4.2 評価方法	6
4.3 評価結果	6
4.4 考察	6
5 おわりに	7
5.1 まとめ	7
5.2 今後の課題	7
謝辞	8
参考文献	9
A 付録	10

1 はじめに

1.1 研究の背景

【研究の背景について記述】

1.2 研究の目的

【研究の目的について記述】

1.3 本論文の構成

本論文の構成を以下に示す。第2章では、本研究に関連する背景知識について述べる。第3章では、提案手法・システムについて述べる。第4章では、評価実験について述べる。第5章で本論文をまとめるとする。

2 背景知識

2.1 【技術・概念 1】

【技術や概念に関する説明】

2.2 【技術・概念 2】

【技術や概念に関する説明】

2.3 【技術・概念 3】

【技術や概念に関する説明】

3 提案手法

3.1 提案手法の概要

【提案手法の概要を記述】

3.2 システム設計

【システムの設計について記述】

3.3 実装

【実装の詳細について記述】

4 評価

4.1 評価環境

【評価環境について記述】

4.2 評価方法

【評価方法について記述】

4.3 評価結果

【評価結果について記述】

4.4 考察

【評価結果に対する考察を記述】

5 おわりに

5.1 まとめ

本研究では、【研究内容の要約】について述べた。

5.2 今後の課題

今後の課題として、【今後の課題や展望】が挙げられる。

謝辞

本研究を進めるにあたり，研究テーマや方針について多大なるご指導を賜りました矢崎 俊志先生に心より感謝申し上げます．また，日頃より支えてくださった家族に対しても，ここに感謝の意を表します．

参考文献

A 付録

【必要に応じて付録を記述】